

はくさんしこうずいひなんちず 白山市洪水避難地図

【 洪水ハザードマップ 】

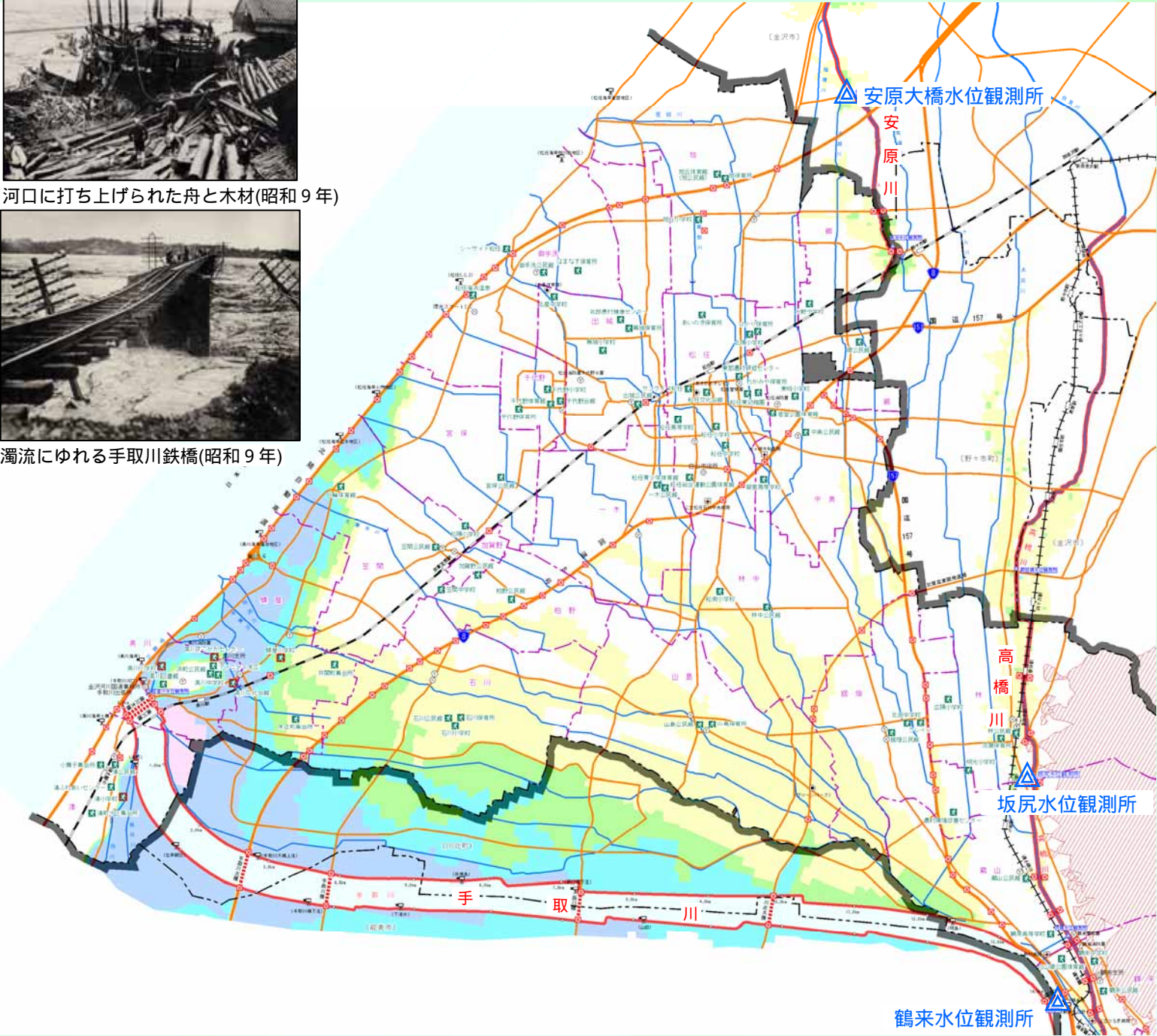
平成19年12月作成



河口に打ち上げられた舟と木材(昭和9年)



濁流にゆれる手取川鉄橋(昭和9年)



〒924-8688 石川県白山市倉光二丁目1番地 TEL (076) 276-1111 (代表)

<http://www.city.hakusan.ishikawa.jp>

白山市 防災安全課 TEL (076) 274-9536

河川砂防課 TEL (076) 274-9556

美川支所 TEL (076) 278-8111

鶴来支所 TEL (0761) 92-1111



洪水避難地図とは

この地図は、河川管理者が公表した浸水想定区域図(手取川は100年に1回程度、高橋川及び安原川は50年に1回程度の大雨が降った場合を想定し、複数の箇所では氾濫したときの浸水する範囲と深さを表示した地図)に基づき、避難時の情報などを示したものです。

事前に自分の住んでいる場所の浸水情報や避難施設・避難経路を確認し、洪水時に安全な避難行動ができるよう備えてください。

雨の降り方や土地の状態により地図に示した区域以外も浸水したり、がけ崩れなどが発生することがありますので十分注意してください。

浸水想定区域図作成のため想定した大雨の規模は、手取川は日雨量316mm、高橋川は2日雨量240mm、安原川は時間雨量50.4mmです。

避難情報と河川の水位

避難指示のめやす

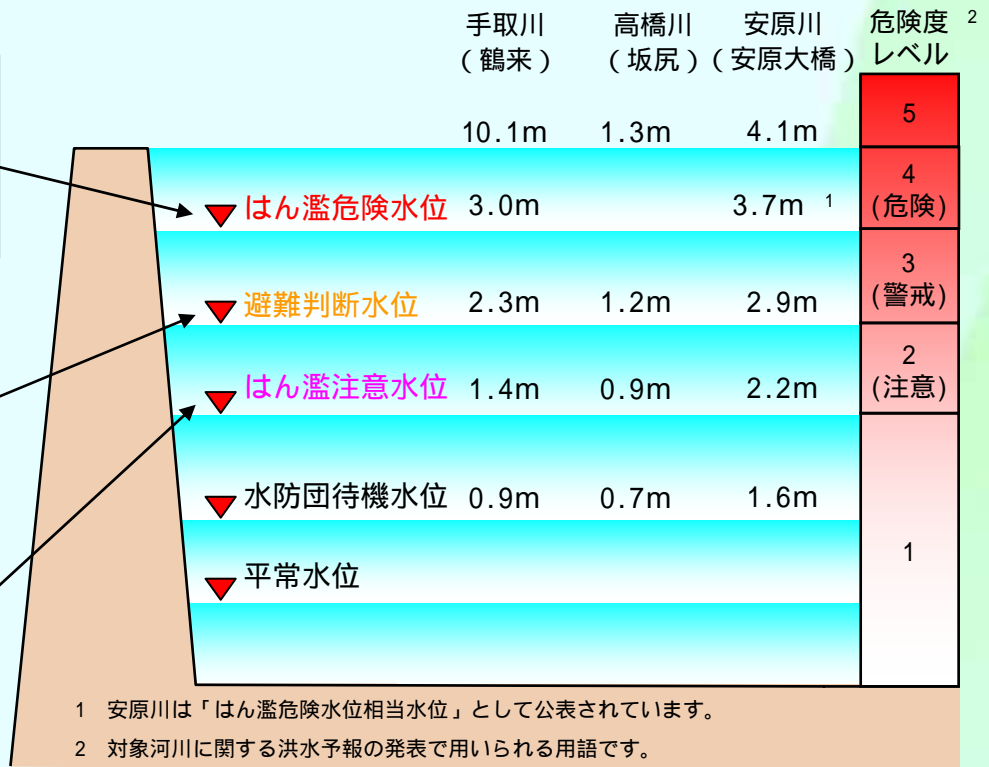
非常に危険な状態です。直ちに最寄の避難施設へ避難を完了して下さい。また十分な時間のない方は近くの丈夫で高い建物に避難して救助を待ってください。

避難勧告のめやす

危険が迫っているので、すみやかに避難施設へ避難して下さい。またできるだけ近所の方に声をかけて避難して下さい。

避難準備情報のめやす

危険が予想されるので避難の準備を始めて下さい。またお年寄りや体の不自由な方は、直ちに避難施設へ避難をして下さい。



浸水深のめやす

3階以上が浸水する深さ。場合によっては家が壊れ、流される恐れがある。

2階の軒下までつかる深さ。場合によっては家が壊れ、流される恐れがある。

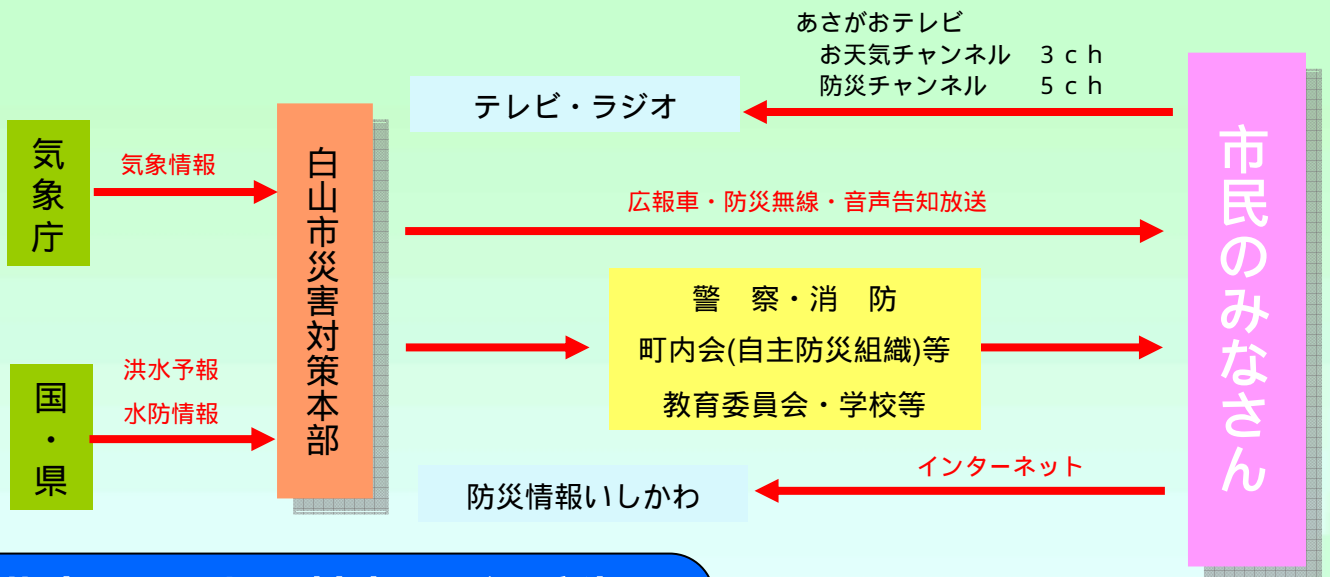
1階の軒下までつかる深さ。

大人の腰までつかる深さ。(床上浸水の発生)
歩行での避難が困難である。

大人の膝までつかる深さ。(床下浸水の発生)
歩行での避難が可能である。



洪水避難に関する情報の経路



洪水に関する情報の入手先

気象情報

金沢地方気象台ホームページ
<http://www.tokyo-jma.go.jp/home/kanazawa>
 石川県防災気象情報ホームページ
<http://ishikawa.wni.co.jp>

河川情報

石川県河川情報システムホームページ
<http://kasen.pref.ishikawa.jp>

防災情報

国土交通省金沢河川国道事務所「防災情報いしかわ」
<http://www.kanazawa-mlit.com/bousai-info-ishikawa>

携帯電話で簡単アクセス

カメラ付携帯電話を使ってQRコードを読み取ると簡単にアクセスできます。バーコードリーダー機能のない携帯電話からは読み取りできません。

金沢河川国道事務所
モバイルサイト



<http://c10w1bke.securesites.net/k/>

石川県モバイル情報
(携帯用ページ)



<http://www4.pref.ishikawa.jp/>

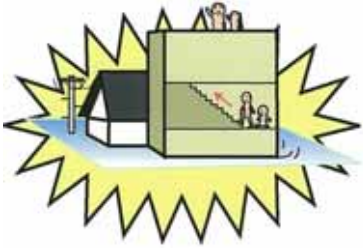
わが家の避難経路

【オリジナルマップの作成】事前に避難経路を確認し、あなたの家から避難施設までの経路を下の空欄に書いてみましょう。

洪水避難時の心得

下記のイラストは、学校法人金城学園 金城大学短期大学部美術学科生が作成しました。

万が一、逃げ遅れたときには



万が一避難が遅れ、危険が迫った時には、近くの丈夫な建物や高台などに逃げましょう。

正確な情報収集と自主的避難を



ラジオ・テレビで最新の気象情報、災害情報、避難情報に注意しましょう。雨の降り方や状況に注意し、危険を感じたら自主的に避難しましょう。

車での避難は控えて



車での避難は緊急車両や水防活動の妨げになります。堤防や道路に放置しないで下さい。特別な場合を除き徒歩で避難しましょう。

お年寄りや体の不自由な人の避難に協力を



お年寄りや子供、病気の人、体の不自由な人などは、早めの避難が必要です。近所の人との避難に協力しましょう。

足元に注意しましょう



裸足や長靴は禁物！ひもでしめられる運動靴をはいて避難しましょう。

動きやすい格好で、はぐれないように複数で



避難するときは、動きやすい格好で、またははぐれないようお互いの体をロープなどで結んで避難しましょう。特に子供からは目を離さないように2人以上で避難をしましょう。

歩ける深さはひざ上まで



歩ける深さはおよそ50cmぐらいです。水深が腰まであるようなら無理は禁物。高いところで救助を待ちましょう。

段差、溝に注意しましょう



避難にはできるだけ高い場所を選び、浸水している場合は段差や溝、水路に十分注意し、長い棒を杖代わりに安全を確認しましょう。

地下道には注意を！



横断地下道(車道や歩道)など、浸水する地域の地下空間は、地上で冠水すると一気に水が流れこみ非常に危険です。洪水時には利用しないで下さい。

家族の連絡先

氏名	連絡先・電話番号等

避難時の持ち物

避難時に必要な持ち物を準備しておきましょう。

ラジオ・懐中電灯 	水・非常食 	貴重品
ロープ 	緊急医療品 	衣類等